


鼓神社宝塔



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	つづみじんじゃほうとう
所在地	岡山市北区上高田
指定年月日	昭和31年6月28日
解説	塔身背面の刻銘によると、貞和2年(1346)の建立、花崗岩製。基礎・塔身・笠・相輪から成り、高さ4.0m。優美な装飾性に富む県下最大の石造宝塔。基礎は、三面を二区に分け、正面は格狭間内に孔雀、左右側面には意匠の異なる蓮華を浮彫に表す。塔身は、正面に深い龕を彫り込み、内部に大日如来を彫り出す。鼓神社は仁寿元年(851)の創建といわれ、備中国二宮であった。本塔は、その別当寺神林寺のものといわれる。なお、石工妙阿は八幡神社鳥居(重要文化財)も建立している。
アクセス方法	岡山総社ICから車で約20分
公開状況	
設備	駐車場 
備考	